


# 老化と皮膚




お年寄りにできる皮膚病をいくつか集めてみました。  
多くは、長年日光にさらされたことが誘因になっています。ですから、若い頃からの過度の日光浴は避けるべきです。治療を要するものと、放置してよいものとがあります。気軽に皮膚科専門医に御相談下さい。

## 老人性乾皮症




皮脂の分泌低下、皮膚の保湿力低下のため、かさかさした皮膚になります。多くの場合、かゆみを伴います。

## 老人性紫斑




自分で気がつかないような軽微な外力で、出血がおこります。皮膚の血管がもろくなって破れたため、心配は要りません。

## 老人性色素斑 老人性白斑




日光露出部に多くみられます。どちらもそれほど大きくはなりませんし、癌にもなりません。

## 老人性血管腫





赤いため別名さくらんぼ血管腫とも言われ、胸や背中によくみられます。無害なものです。

## 老人性疣贅



俗にいう長生きぼくろ、年寄りいぼです。癌ではありません。

## 日光角化症



長年の紫外線曝露による初期の癌です。早期治療で完全に治ります。

進行癌

平成5年11月12日は、皮膚の日です。